



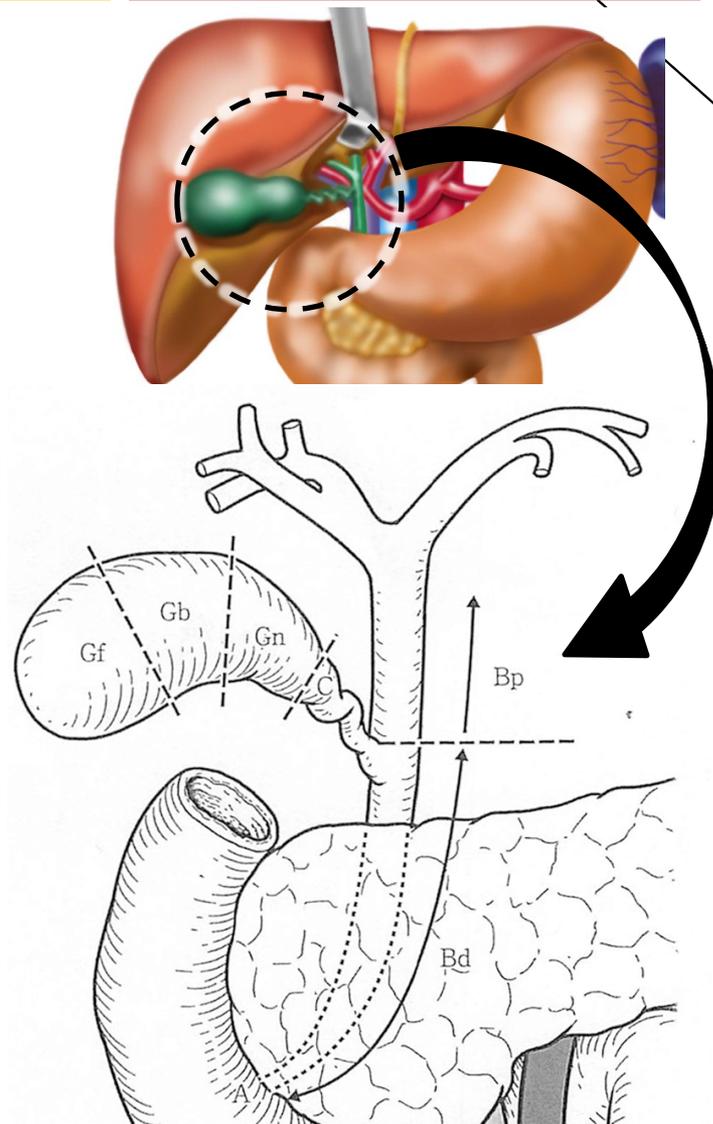
# 胆道系がんの病期分類

---

# 局在コード

# 《胆嚢・肝外胆管》

局在	取扱い規約	診断所見名
<b>C22.1</b>	<b>Bh</b>	肝内胆管
<b>C23.0</b>	<b>Gf</b>	胆嚢底部
	<b>Gb</b>	胆嚢体部
	<b>Gn</b>	胆嚢頸部
<b>C24.0</b>	<b>Bp</b>	肝門部胆管
	<b>Bd</b>	遠位胆管
	<b>C</b>	胆嚢管
		胆管, NOS
<b>C24.1</b>	<b>Ab</b>	乳頭部胆管
	<b>Ap</b>	乳頭部膵管
	<b>Ac</b>	共通管部
	<b>Ad</b>	大十二指腸乳頭
<b>C25.0</b>	<b>Ph</b>	膵頭部
<b>C17.0</b>	<b>D</b>	十二指腸



# 形態コード(組織型) (取扱い規約第7版) 《胆道系》

病理組織名(日本語)	英語表記	形態コード
胆管上皮内腫瘍	Biliary intraepithelial neoplasm ( <b>BiIN</b> )	
胆管上皮内腫瘍、高異型度	High-grade ( <b>BiIN-3</b> )	<b>8148/2</b>
胆管内乳頭状腫瘍( <b>IPNB</b> )	Intraductal papillary neoplasm of bile duct	
胆管内乳頭状腫瘍、高異型度	with high-grade intraepithelial neoplasm	<b>8503/2</b>
胆管内乳頭状腫瘍、浸潤性	with associated invasive carcinoma	<b>8503/3</b>
胆嚢内乳頭状腫瘍( <b>ICPN</b> )	Intracholecystic papillary neoplasm	
胆嚢内乳頭状腫瘍、高異型度	with high-grade intraepithelial neoplasm	<b>8503/2</b>
胆嚢内乳頭状腫瘍、浸潤性	with associated invasive carcinoma	<b>8503/3</b>
胆道粘液性嚢胞腫瘍( <b>MCN</b> )	Mucinous cystic neoplasm of bile tract	
胆道粘液性嚢胞腫瘍、高異型度	with high-grade intraepithelial neoplasm	<b>8470/2</b>
胆道粘液性嚢胞腫瘍、浸潤性	with associated invasive carcinoma	<b>8470/3</b>
腺癌, NOS ※1	Adenocarcinoma, NOS	<b>81X0/3</b> ※1
高分化型	well differentiated type ( <b>wel</b> )	<b>81X0/31</b>
中分化型	moderately differentiated type ( <b>mod</b> )	<b>81X0/32</b>
低分化型	poorly differentiated type ( <b>por</b> )	<b>81X0/33</b>
粘液癌	Mucinous ca. ( <b>muc</b> )	<b>8490/3</b>
腺扁平上皮癌	Adenosquamous ca. ( <b>asc</b> )	<b>8560/3</b>
扁平上皮癌	Squamous cell ca. ( <b>scc</b> )	<b>8070/3</b>
未分化癌	undifferentiated carcinoma ( <b>ud</b> )	<b>8020/3</b>
分類不能腫瘍	Unclassified tumor ( <b>uct</b> )	<b>8000/1</b>

※1 胆嚢/乳頭部の腺癌:**8140/3**、肝外胆管の腺癌:**8160/3**

# 胆道癌の病理組織型

- ほとんどが腺癌

- 高分化～中分化型管状腺癌が一般的

- 腺癌

- 乳頭状腺癌
- 管状腺癌
- その他

※ 胆管細胞癌 という表現もあるが、  
一般に肝臓発生に用いられ、組織型としての意味合いは弱い

# 付加因子など 《肝外胆管》

- 胆道系亜部位の付加因子

**7001** 胆嚢管

**7002** 肝門部胆管

**7003** 遠位胆管

- 遠位胆管癌のT分類

- 原発巣の進展状況評価のための画像診断が  
未施行 **1500 TX**

- 施行するも情報得られず **1999 不明**

- 【699 腫瘍情報《テキスト》】に

- 取扱い規約第6版のT分類を、**全て全角**で記載

- 〈例〉 cT2, pT3 → 「規約cT=2;規約pT=3」

# 《胆嚢》のUICC第8版

- 領域リンパ節の変更
  - 腹腔動脈リンパ節の追加
  - 上腸間膜動脈リンパ節の追加

- T分類では、
  - T2a、T2bに細分化
- N分類は、
  - 転移リンパ節の個数により、胆道系共通で変更
    - N1 1～3個
    - N2 4個以上
- M分類は、変更なし
- ステージは、T・N分類の変更に合わせて修正

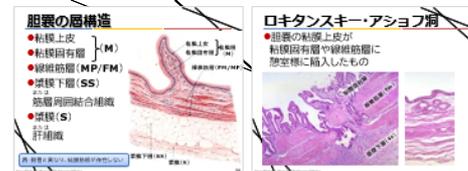
漿膜側と肝側  
浸潤の方向で分類

《胆嚢》、《肝門部胆管》、《遠位胆管》、  
《フアーター乳頭部》に共通の分類

付加因子など 《肝外胆管》

- 胆道系亜部位の付加因子
  - 7001 胆嚢管
  - 7002 肝門部胆管
  - 7003 遠位胆管
- 遠位胆管癌のT分類
  - 原発巣の進展状況評価のための画像診断が未施行・施行するも情報得られず 1500 TX 1999 不明
  - [699 遠隔情報(テキスト)]に取扱い規約第6版のT分類を、全て全角で記載(例) cT2, pT3 → 「規約cT=2;規約pT=3」

# T分類(UICC第8版)《胆嚢》



**Tis** 上皮内癌

**T1** 粘膜固有層または筋層に浸潤する腫瘍

**T1a** 粘膜固有層に浸潤する腫瘍 (**M**)

**T1b** 筋層に浸潤する腫瘍 (**MP**)

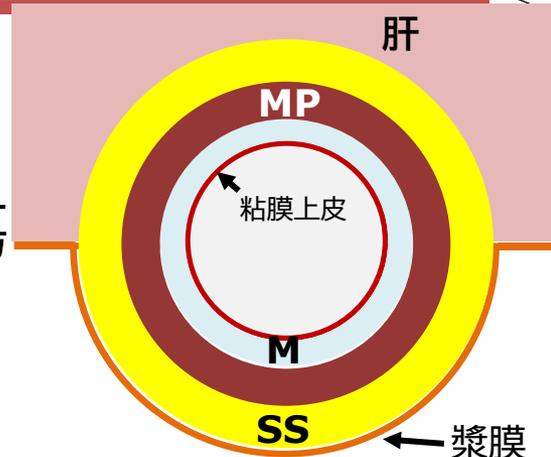
**T2** 筋層周囲結合組織に浸潤するが、漿膜をこえるまたは肝臓への進展のない腫瘍 (**SS**)

**T2a** 漿膜側の筋層周囲結合組織に浸潤、漿膜に及ばない

**T2b** 肝臓側の筋層周囲結合組織に浸潤、肝臓に及ばない

**T3** 漿膜(臓側腹膜)を貫通した腫瘍、肝臓、および/または肝臓以外の1つの隣接臓器(胃、十二指腸、結腸、膵臓、大網、肝外胆管)に直接進展する腫瘍

**T4** 門脈本幹または肝動脈に浸潤する腫瘍、あるいは肝臓以外の2つ以上の隣接臓器に進展する腫瘍



# N分類(UICC第8版) 《胆嚢》

- NX** 領域リンパ節転移の評価が不可能
- N0** 領域リンパ節転移なし
- N1** 1～3個の領域リンパ節転移あり
- N2** 4個以上の領域リンパ節転移あり

## ●胆嚢の領域リンパ節

- 肝門リンパ節(総胆管、固有肝動脈、門脈、胆嚢管周囲)
- 腹腔動脈周囲リンパ節
- 上腸間膜動脈(根部)リンパ節

腹腔動脈、上腸間膜動脈周囲のリンパ節を追加

# 領域リンパ節対応表

## 《胆嚢》

番号	リンパ節名	胆嚢	
		規約第7版	UICC第8版
1	右噴門リンパ節		
2	左噴門リンパ節		
3	小彎リンパ節		
4	大彎リンパ節		
5	幽門上リンパ節		
6	幽門下リンパ節		
7	左胃動脈幹リンパ節		
8	総肝動脈幹リンパ節	領域	領域
8a	総肝動脈幹前・上部リンパ節	領域	領域
8p	総肝動脈幹後部リンパ節	領域	領域
9	腹腔動脈周囲リンパ節	領域	領域
10	脾門リンパ節		
11	脾動脈幹リンパ節		
12	肝十二指腸間膜内リンパ節	領域	領域
12h	肝門部リンパ節	領域	領域
12a	肝動脈リンパ節	領域	領域
12p	門脈リンパ節	領域	領域
12b	胆管リンパ節	領域	領域
12c	胆嚢管リンパ節	領域	領域

番号	リンパ節名	胆嚢	
		規約第7版	UICC第8版
13	臍頭後部リンパ節		
13a	上臍頭後部リンパ節	領域	
13b	下臍頭後部リンパ節		
14	上腸間膜動脈リンパ節	領域	領域
14p	上腸間膜動脈近位リンパ節	領域	領域
14d	上腸間膜動脈遠位リンパ節	領域	領域
15	中結腸動脈周囲リンパ節		
16	大動脈周囲リンパ節		
16a1	大動脈周囲リンパ節a1		
16a2	大動脈周囲リンパ節a2		
16b1	大動脈周囲リンパ節b1		
16b2	大動脈周囲リンパ節b2		
17	臍頭前部リンパ節		
17a	上臍頭前部リンパ節		
17b	下臍頭前部リンパ節		
18	下臍リンパ節		

# M分類(UICC第8版) 《胆嚢》

共通

**MX** 遠隔転移の評価が不可能

**M0** 遠隔転移なし

**M1** 遠隔転移あり

●胆道系で頻度の高い遠隔転移

■ 血行性 肝臓、肺

■ 播種性 腹膜

■ リンパ行性 所属外リンパ節

# ステージ(UICC第8版) 《胆嚢》

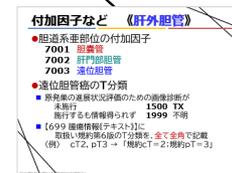
TNM分類第8版 (胆嚢)		N0	N1	N2
<b>Tis</b>		0		
<b>T1</b>	<b>T1a</b>	I A	Ⅲ B	Ⅳ B
	<b>T1b</b>	I B	Ⅲ B	Ⅳ B
<b>T2</b>	<b>T2a</b>	Ⅱ A	Ⅲ B	Ⅳ B
	<b>T2b</b>	Ⅱ B	Ⅲ B	Ⅳ B
<b>T3</b>		Ⅲ A	Ⅲ B	Ⅳ B
<b>T4</b>		Ⅳ A	Ⅳ A	Ⅳ B
<b>M1</b>		Ⅳ B	Ⅳ B	Ⅳ B

# 進展度(UICC第8版) 《胆嚢》

UICC TNM分類 【第8版】		N0	N1	N2
<b>Tis</b>		上皮内		
<b>T1</b>	<b>T1a</b>	限 局	領域リンパ節 転移	領域リンパ節 転移
	<b>T1b</b>	限 局	領域リンパ節 転移	領域リンパ節 転移
<b>T2</b>	<b>T2a</b>	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
	<b>T2b</b>	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>T3</b>		隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>T4</b>		隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>M1</b>		遠隔転移	遠隔転移	遠隔転移

# 《肝外胆管》のUICC第8版 (第7版からの変更)

- 領域リンパ節の変更
  - 上腸間膜動脈リンパ節の追加(遠位胆管)



- T分類では、
  - 腫瘍の浸潤で分類(遠位胆管)
- N分類は、
  - 転移リンパ節の個数により、胆道系共通で変更
  - N1** 1~3個
  - N2** 4個以上
- M分類は、変更なし
- ステージは、T・N分類の変更に合わせて修正

取扱い規約は、第7版(2021年)から対応

《胆嚢》、《肝門部胆管》、《遠位胆管》、《ファーター乳頭部》に共通の分類

# T分類(UICC第8版) 《肝門部胆管》

**Tis** 上皮内癌

**T1** 胆管に限局、  
筋層または線維組織に進展

**T2** 胆管壁を越えて、進展(脈管浸潤なし)

**T2a** 胆管壁を越えて脂肪組織に浸潤(**ss**)

**T2b** 隣接肝実質に浸潤

**T3** 門脈または肝動脈の片側の分枝に浸潤

**T4** 門脈本幹または肝動脈/門脈の両側分枝に浸潤、

あるいは総肝動脈に浸潤、

あるいは両側胆管二次分枝に浸潤、

あるいは片側胆管二次分枝と対側門脈または肝動脈に浸潤

粘膜上皮	}	(m)
粘膜固有層		
線維筋層		(fm)
漿膜下層		(ss)
漿膜		

# T3-4(UICC第8版) 《肝門部胆管》

## ● T3

門脈/肝動脈の片側の分枝(右枝/左枝の範囲)

右:分岐部~P point

左:分岐部~U point

## ● T4

門脈本幹

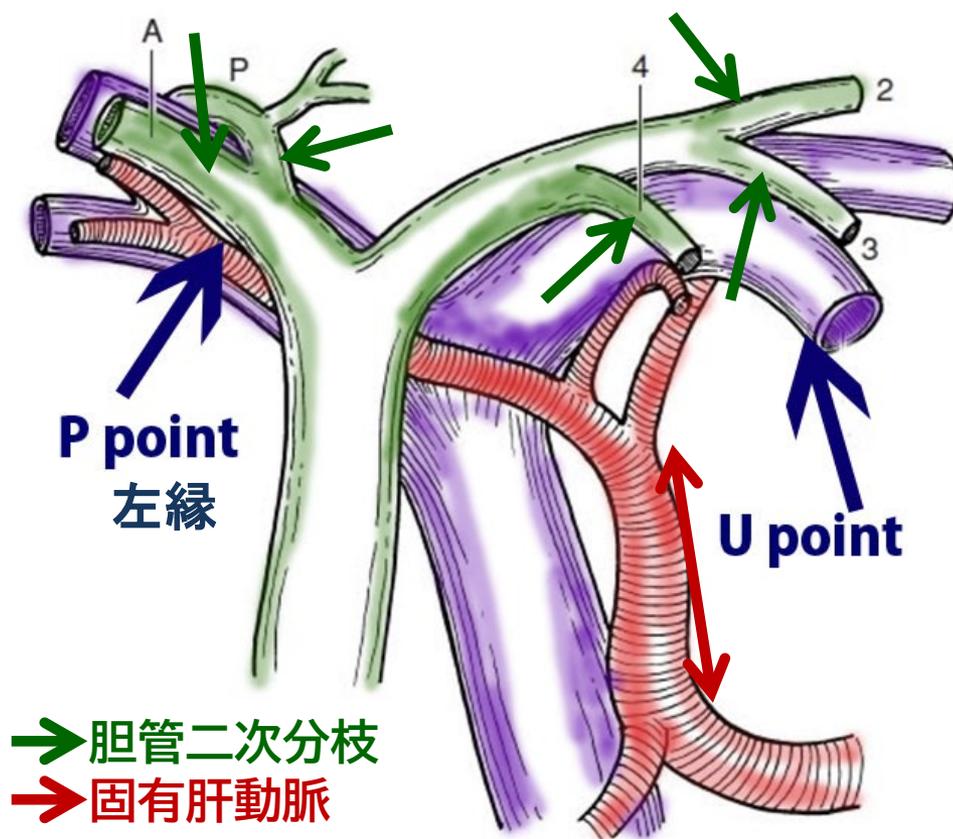
肝動脈/門脈両側分枝

総肝動脈

両側胆管二次分枝

片側胆管二次分枝と

対側門脈/肝動脈



# T4(UICC第8版)の要件 《肝門部胆管》

- 門脈系 門脈本幹 — 右/左 門脈分枝
- 動脈系 総肝動脈 — 右/左 肝動脈
- 胆管系 総肝管 — 右/左 肝管(一次分枝)  
— 肝内胆管(二次分枝)

	本幹	両側	片側胆管と対側脈管	
門脈	本幹			
		両側		
動脈	総肝動脈			
		両側		
胆管			両側	
			片側	対側門脈
			片側	対側胆管

# N分類(UICC第8版) 《肝門部胆管》

- NX** 領域リンパ節転移の評価が不可能
- N0** 領域リンパ節転移なし
- N1** 1～3個の領域リンパ節転移あり
- N2** 4個以上の領域リンパ節転移あり

- **肝門部胆管の領域リンパ節**

肝門リンパ節(総胆管、固有肝動脈、門脈、胆嚢管周囲)

胆管周囲リンパ節(肝十二指腸間膜内)

# 領域リンパ節対応表 《肝門部胆管》

番号	リンパ節名	肝門部胆管	
		規約 第7版	UICC 第8版
1	右噴門リンパ節		
2	左噴門リンパ節		
3	小彎リンパ節		
4	大彎リンパ節		
5	幽門上リンパ節		
6	幽門下リンパ節		
7	左胃動脈幹リンパ節		
8	総肝動脈幹リンパ節	領域	
8a	総肝動脈幹前・上部リンパ節	領域	
8p	総肝動脈幹後部リンパ節	領域	
9	腹腔動脈周囲リンパ節		
10	脾門リンパ節		
11	脾動脈幹リンパ節		
12	肝十二指腸間膜内リンパ節	領域	領域
12h	肝門部リンパ節	領域	領域
12a	肝動脈リンパ節	領域	領域
12p	門脈リンパ節	領域	領域
12b	胆管リンパ節	領域	領域
12c	胆嚢管リンパ節	領域	領域

番号	リンパ節名	肝門部胆管	
		規約 第7版	UICC 第8版
13	脾頭後部リンパ節		
13a	上脾頭後部リンパ節	領域	
13b	下脾頭後部リンパ節		
14	上腸間膜動脈リンパ節		
14p	上腸間膜動脈近位リンパ節		
14d	上腸間膜動脈遠位リンパ節		
15	中結腸動脈周囲リンパ節		
16	大動脈周囲リンパ節		
16a1	大動脈周囲リンパ節a1		
16a2	大動脈周囲リンパ節a2		
16b1	大動脈周囲リンパ節b1		
16b2	大動脈周囲リンパ節b2		
17	脾頭前部リンパ節		
17a	上脾頭前部リンパ節		
17b	下脾頭前部リンパ節		
18	下脾リンパ節		

# M分類(UICC第8版) 《肝門部胆管》

共通

**MX** 遠隔転移の評価が不可能

**M0** 遠隔転移なし

**M1** 遠隔転移あり

●胆道系で頻度の高い遠隔転移

■ 血行性 肝臓、肺

■ 播種性 腹膜

■ リンパ行性 所属外リンパ節

# ステージ(UICC第8版) 《肝門部胆管》

TNM分類第8版 (肝門部胆管)		N0	N1	N2
<b>Tis</b>		0		
<b>T1</b>		I	ⅢC	ⅣA
<b>T2</b>	<b>T2a</b>	Ⅱ	ⅢC	ⅣA
	<b>T2b</b>	Ⅱ	ⅢC	ⅣA
<b>T3</b>		ⅢA	ⅢC	ⅣA
<b>T4</b>		ⅢB	ⅢC	ⅣA
<b>M1</b>		ⅣB	ⅣB	ⅣB

# 進展度(UICC第8版) 《肝門部胆管》

		N0	N1	N2
<b>Tis</b>		上皮内		
<b>T1</b>		限 局	領域リンパ節 転移	領域リンパ節 転移
<b>T2</b>	<b>T2a</b>	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
	<b>T2b</b>	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>T3</b>		隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>T4</b>		隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>M1</b>		遠隔転移	遠隔転移	遠隔転移

# 《遠位肝外胆管》のUICC第8版

付加因子など 《肝外胆管》

胆道系亜部位の付加因子
7001 胆嚢管
7002 肝門胆嚢管
7003 遠位胆嚢管
● 遠位胆嚢管のT分類
● 胆嚢管の遠位胆嚢管のための追加診断が
未施行 1500 IX
施行するも情報得られず 1999 不明
● [699 腫瘍情報テキスト]に
既録し、既録済の版のT分類を、全て全角で記載
(例) cT2, pT3 → T分類T = 2, 期別pT = 3

- 領域リンパ節の変更
  - 上腸間膜静脈周囲、上腸間膜動脈の右側  
→ 上腸間膜動脈に沿ったリンパ節 に変更

組織学的な浸潤の深さの判定  
→ 数値での評価

- T分類では、
  - 浸潤の深さでの評価
  - 血管浸潤に総肝動脈を追加

評価できない場合  
胆道癌取扱い規約《第6版》の  
T分類情報を  
【699】腫瘍情報テキストに入力

- N分類は、
  - 転移リンパ節の個数により、**N1**と**N2**に分類
- M分類は、変更なし
- ステージは、**T・N**分類の変更に合わせて修正

# T分類(UICC第8版) 《遠位肝外胆管》

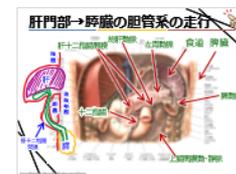
**Tis** 上皮内癌

**T1** 胆管壁に **5mm**未満の深さの浸潤

**T2** 胆管壁に **5mm**以上、**12mm**以下の深さの浸潤

**T3** 胆管壁に**12mm**をこえる深さの浸潤

**T4** 腹腔動脈幹、上腸間膜動脈、または 総肝動脈に浸潤



浸潤の深さによる評価に変更

**T4**は、基幹となる血管への浸潤で、総肝動脈が追加

# N分類(UICC第8版) 《遠位肝外胆管》

- NX** 領域リンパ節転移の評価が不可能
- N0** 領域リンパ節転移なし
- N1** 1～3個の領域リンパ節転移あり
- N2** 4個以上の領域リンパ節転移あり

## ●遠位肝外胆管の領域リンパ節

- 総胆管リンパ節
- 総肝動脈～腹腔動脈幹リンパ節
- 膵十二指腸周囲のリンパ節
- 上腸間膜動脈リンパ節

右側だけでない 上腸間膜動脈周囲のリンパ節を追加

# 領域リンパ節対応表 《遠位肝外胆管》

番号	リンパ節名	遠位肝外胆管	
		規約第7版	UICC第8版
1	右噴門リンパ節		
2	左噴門リンパ節		
3	小彎リンパ節		
4	大彎リンパ節		
5	幽門上リンパ節		
6	幽門下リンパ節		
7	左胃動脈幹リンパ節		
8	総肝動脈幹リンパ節	領域	領域
8a	総肝動脈幹前・上部リンパ節	領域	領域
8p	総肝動脈幹後部リンパ節	領域	領域
9	腹腔動脈周囲リンパ節	領域	領域
10	脾門リンパ節		
11	脾動脈幹リンパ節		
12	肝十二指腸間膜内リンパ節	領域	領域
12h	肝門部リンパ節	領域	領域
12a	肝動脈リンパ節	領域	領域
12p	門脈リンパ節	領域	領域
12b	胆管リンパ節	領域	領域
12c	胆嚢管リンパ節	領域	領域

番号	リンパ節名	遠位肝外胆管	
		規約第7版	UICC第8版
13	臍頭後部リンパ節	領域	領域
13a	上臍頭後部リンパ節	領域	領域
13b	下臍頭後部リンパ節	領域	領域
14	上腸間膜動脈リンパ節	領域	領域
14p	上腸間膜動脈近位リンパ節	領域	領域
14d	上腸間膜動脈遠位リンパ節	領域	領域
15	中結腸動脈周囲リンパ節		
16	大動脈周囲リンパ節		
16a1	大動脈周囲リンパ節a1		
16a2	大動脈周囲リンパ節a2		
16b1	大動脈周囲リンパ節b1		
16b2	大動脈周囲リンパ節b2		
17	臍頭前部リンパ節	領域	領域
17a	上臍頭前部リンパ節	領域	領域
17b	下臍頭前部リンパ節	領域	領域
18	下臍リンパ節		

# M分類(UICC第8版)《遠位肝外胆管》

共通

**MX** 遠隔転移の評価が不可能

**M0** 遠隔転移なし

**M1** 遠隔転移あり

## ●胆道系で頻度の高い遠隔転移

- 血行性 肝臓、肺
- 播種性 腹膜
- リンパ行性 所属外リンパ節

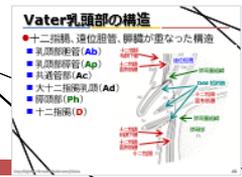
# ステージ(UICC第8版)《遠位肝外胆管》

TNM分類第8版 (遠位肝外胆管)	N0	N1	N2
Tis	0		
T1	I	II A	III A
T2	II A	II B	III A
T3	II B	II B	III A
T4	III B	III B	III B
M1	IV	IV	IV

# 進展度(UICC第8版) 《遠位肝外胆管》

	<b>N0</b>	<b>N1</b>	<b>N2</b>
<b>Tis</b>	上皮内		
<b>T1</b>	限 局	領域リンパ節 転移	領域リンパ節 転移
<b>T2</b>	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>T3</b>	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>T4</b>	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>M1</b>	遠隔転移	遠隔転移	遠隔転移

# 《乳頭膨大部》のUICC第8版



- 領域リンパ節の変更
  - 《膵頭部》と同じ範囲に変更

膵頭部癌との関係を整理

- **T**分類では、
  - 十二指腸粘膜との関係を細かく評価
  - 総肝動脈を含めた血管浸潤での評価
- **N**分類は、
  - 転移リンパ節の個数により、**N1**と**N2**に分類
- **M**分類は、変更なし
- ステージは、**T・N**分類の変更に合わせて修正

# T分類(UICC第8版) 《Vater乳頭》

**Tis** 上皮内癌

**T1**

**T1a** Vater腫大部、またはOddi括約筋に局限

**T1b** Oddi括約筋をこえる浸潤

および/または 十二指腸の粘膜下層に浸潤

**T2** 十二指腸の固有筋層に浸潤

**T3** 膵臓に浸潤

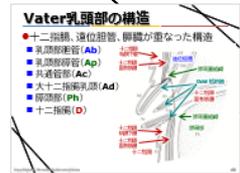
**T3a** 膵臓に0.5cm以下の範囲で浸潤

**T3b** 膵臓に0.5cmをこえる浸潤、

または 膵周囲組織 もしくは十二指腸漿膜に浸潤

**T4** 以下の血管への浸潤を伴うもの

(上腸間膜動脈、腹腔動脈幹、または総肝動脈)



# N分類(UICC第8版) 《Vater乳頭》

- NX** 領域リンパ節転移の評価が不可能
- N0** 領域リンパ節転移なし
- N1** 1～3個の領域リンパ節転移あり
- N2** 4個以上の領域リンパ節転移あり

## ●Vater乳頭の領域リンパ節

総胆管周囲、総肝動脈周囲、門脈周囲、  
幽門、幽門下、幽門背側、近位腸間膜、腹腔動脈周囲、  
前/後腓頭十二指腸動脈周囲、  
上腸間膜動脈/静脈の右縁のリンパ節

《腓頭部》の領域リンパ節と同等

# 領域リンパ節対応表 《Water乳

番号	リンパ節名	乳頭膨大部	
		規約第7版	UICC第8版
1	右噴門リンパ節		
2	左噴門リンパ節		
3	小彎リンパ節		
4	大彎リンパ節		
5	幽門上リンパ節	領域	領域
6	幽門下リンパ節	領域	領域
7	左胃動脈幹リンパ節		
8	総肝動脈幹リンパ節	領域	領域
8a	総肝動脈幹前・上部リンパ節	領域	領域
8p	総肝動脈幹後部リンパ節	領域	領域
9	腹腔動脈周囲リンパ節	領域	領域
10	脾門リンパ節		
11	脾動脈幹リンパ節		
12	肝十二指腸間膜内リンパ節		
12h	肝門部リンパ節		領域
12a	肝動脈リンパ節		領域
12p	門脈リンパ節	領域	領域
12b	胆管リンパ節	領域	領域
12c	胆嚢管リンパ節		

番号	リンパ節名	乳頭膨大部	
		規約第7版	UICC第8版
13	臍頭後部リンパ節	領域	領域
13a	上臍頭後部リンパ節	領域	領域
13b	下臍頭後部リンパ節	領域	領域
14	上腸間膜動脈リンパ節	領域	領域
14p	上腸間膜動脈近位リンパ節	領域	領域
14d	上腸間膜動脈遠位リンパ節	領域	領域
15	中結腸動脈周囲リンパ節		
16	大動脈周囲リンパ節		
16a1	大動脈周囲リンパ節a1		
16a2	大動脈周囲リンパ節a2		
16b1	大動脈周囲リンパ節b1		
16b2	大動脈周囲リンパ節b2		
17	臍頭前部リンパ節	領域	領域
17a	上臍頭前部リンパ節	領域	領域
17b	下臍頭前部リンパ節	領域	領域
18	下臍リンパ節		

# M分類(UICC第8版) 《Vater乳頭》

共通

**MX** 遠隔転移の評価が不可能

**M0** 遠隔転移なし

**M1** 遠隔転移あり

## ●胆道系で頻度の高い遠隔転移

■ 血行性 肝臓、肺

■ 播種性 腹膜

■ リンパ行性 所属外リンパ節

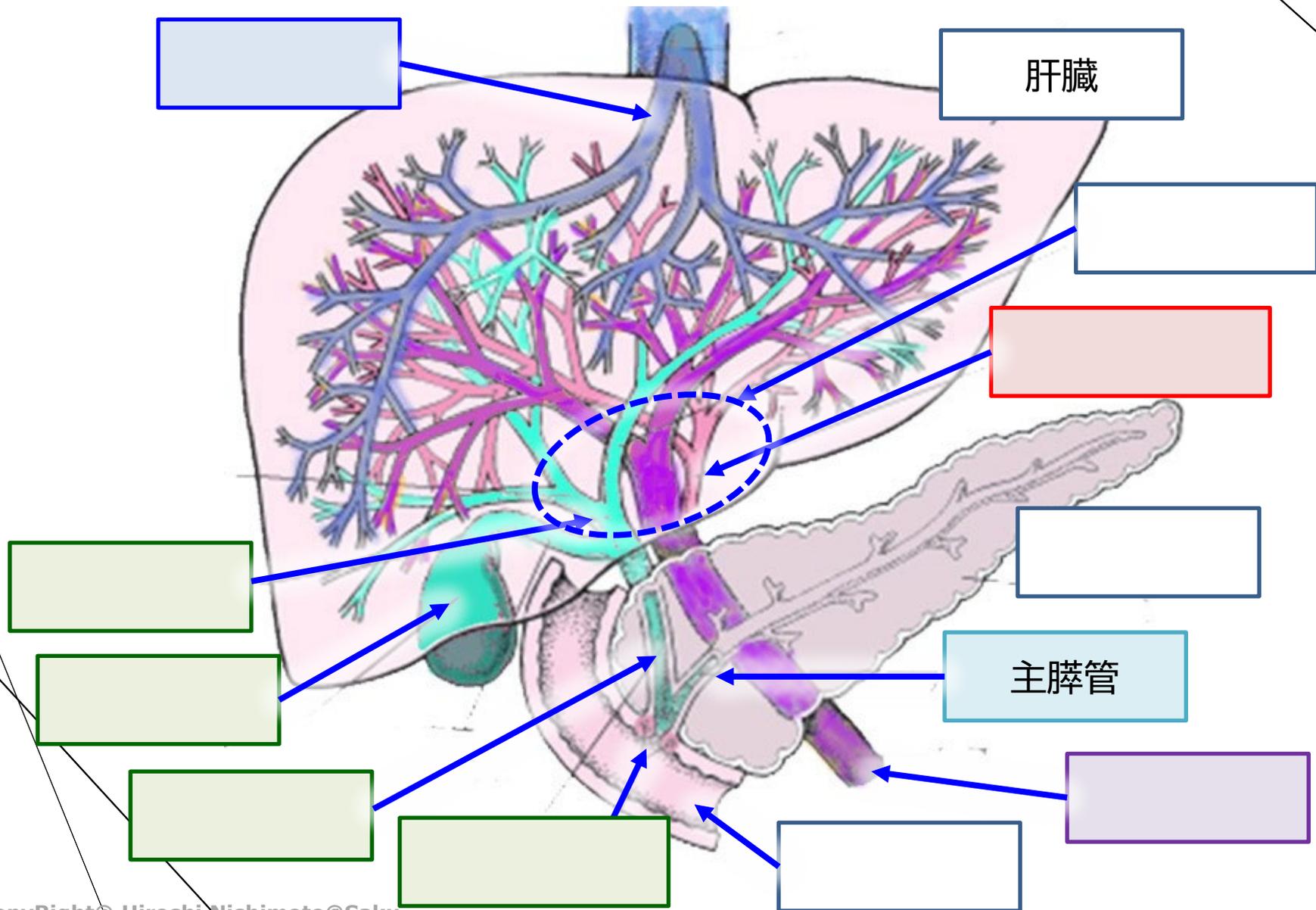
# ステージ(UICC第8版) 《Vater乳頭》

TNM分類第8版 (Vater乳頭)		N0	N1	N2
Tis		0		
T1	T1a	IA	IIIA	IIIB
	T1b	IB		
T2		IB	IIIA	IIIB
T3	T3a	IIA	IIIA	IIIB
	T3b	IIB		
T4		IIIB	IIIB	IIIB
M1		IV	IV	IV

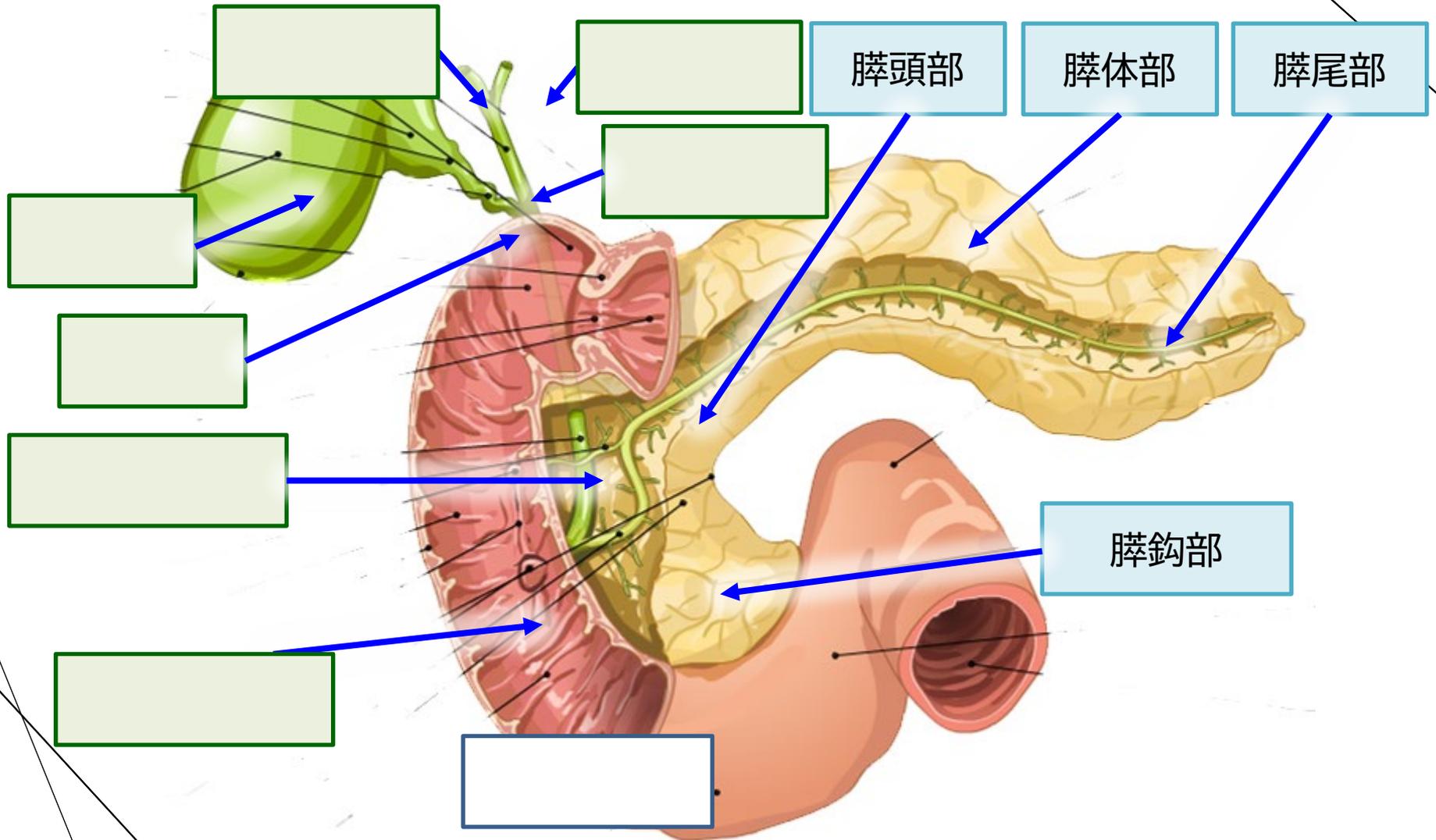
# 進展度(UICC第8版) 《Vater乳頭》

		N0	N1	N2
<b>Tis</b>		上皮内		
<b>T1</b>	<b>T1a</b>	局限	領域リンパ節 転移	領域リンパ節 転移
	<b>T1b</b>	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>T2</b>		隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>T3</b>	<b>T3a</b>	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
	<b>T3b</b>	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>T4</b>		隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>M1</b>		遠隔転移	遠隔転移	遠隔転移

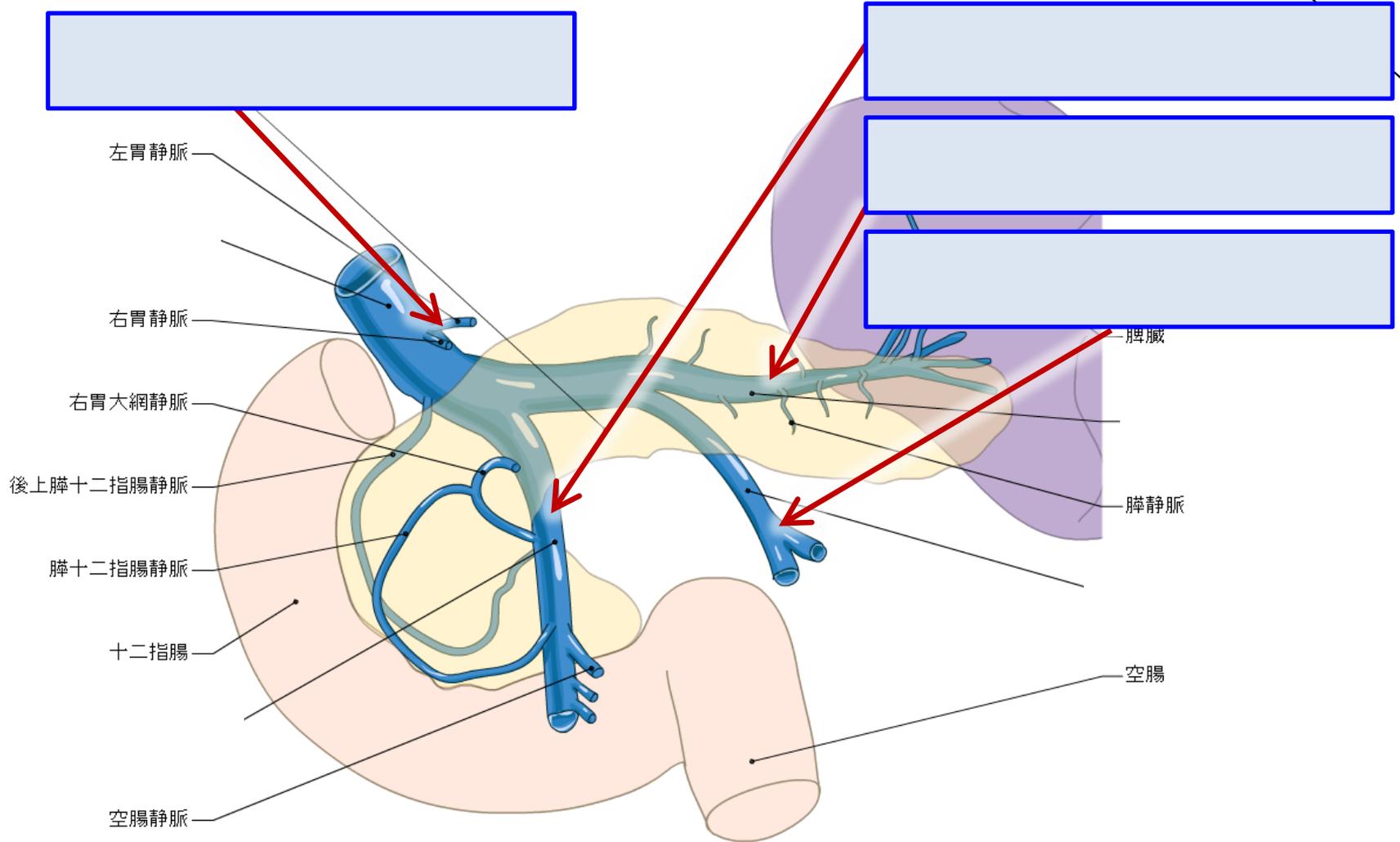
# 肝胆膵（胆道系）の解剖



# 胆道系・膵臓の解剖



# 腹部の静脈(脾・十二指腸周囲)



イラストレーション: A. Micheau - MD

e anatomy<sup>4</sup>

Copyright © IMAIOS 2012

# 胆道癌取扱い規約（第7版）

- 令和3(2021)年3月に発行
  - 胆管癌、胆嚢癌、乳頭部癌に3区分
- **UICC TNM分類第8版との整合性を考慮**
  - 肝門部胆管癌の**T4a**の一部を変更
  - 遠位胆管癌の**T**分類を、浸潤の深さ(**DOI**)で評価  
測定不能時は、浸潤癌成分の厚さ(**ITT**)で代用
  - リンパ節転移の群による分類を中止  
リンパ節番号の一部変更(**#14p, #14d**)
  - 癌先進部の静脈・リンパ管・神経浸潤は**T**に反映
  - その他、表記等を膵癌取扱い規約と合わせた

# 胆道癌の肉眼的分類

## ● 乳頭型

■ a-1

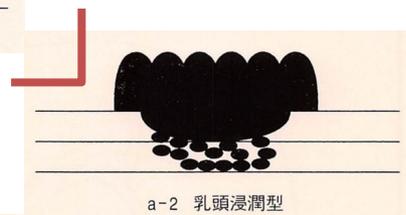
乳頭膨張型



a-1 乳頭膨張型

■ a-2

乳頭浸潤型

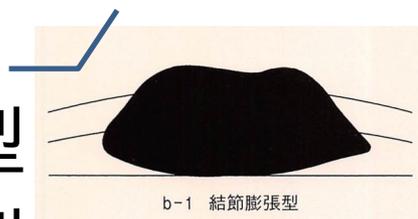


a-2 乳頭浸潤型

## ● 結節型

■ b-1

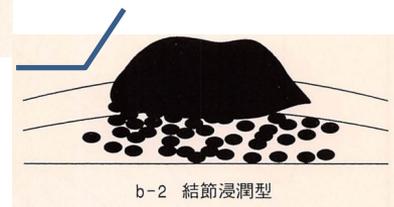
結節膨張型



b-1 結節膨張型

■ b-2

結節浸潤型



b-2 結節浸潤型

## ● 平坦型

■ c-1

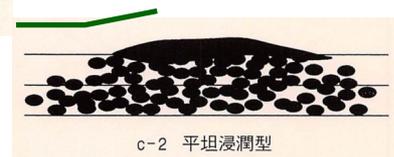
平坦膨張型



c-1 平坦膨張型

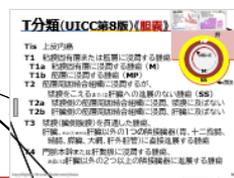
■ c-2

平坦浸潤型



c-2 平坦浸潤型

# T分類(規約第7版) 《胆嚢》



TX 原発腫瘍の評価不能  
 T0 原発腫瘍を認めない

**Tis carcinoma in situ(上皮内癌)**

**T1 粘膜固有層または固有筋層までの浸潤**

**T1a(M)** 粘膜層への浸潤

**T1b(MP)** 固有筋層への浸潤

**T2 漿膜下層あるいは胆嚢床部筋層周囲結合組織に浸潤**

**T2a(SS)** 腹腔側漿膜下層までの浸潤

**T2b(SS)** 肝側漿膜下層までの浸潤

**T3 漿膜浸潤、肝実質浸潤 および/または 肝以外の1カ所その他臓器浸潤**

**T3a(SE)** 漿膜(腹腔側)

**T3a(SI)(Hinf)** 肝実質浸潤

**T3a(SI)** 1カ所その他臓器浸潤 (胃・十二指腸、結腸、膵、大網他)

**T3b(SI)(Binf)** 肝外胆管浸潤

**T4 門脈本幹、総肝動脈・固有肝動脈浸潤 あるいは 肝以外 2カ所以上その他臓器浸潤**

**T4a(SI)** 肝以外の2カ所の周囲臓器浸潤(肝外胆管、胃・十二指腸、結腸、膵、大網他)

**T4b** 門脈本幹または総肝動脈・固有肝動脈浸潤

粘膜上皮	}	(M)
粘膜固有層		
固有筋層		(MP)
漿膜下層		(SS)
漿膜		

# N分類(規約第7版) 《胆嚢》

- NX** 領域リンパ節転移の評価が不可能
- N0** 領域リンパ節転移なし
- N1** 1～3個の領域リンパ節転移あり
- N2** 4個以上の領域リンパ節転移あり

## ● 胆嚢の領域リンパ節

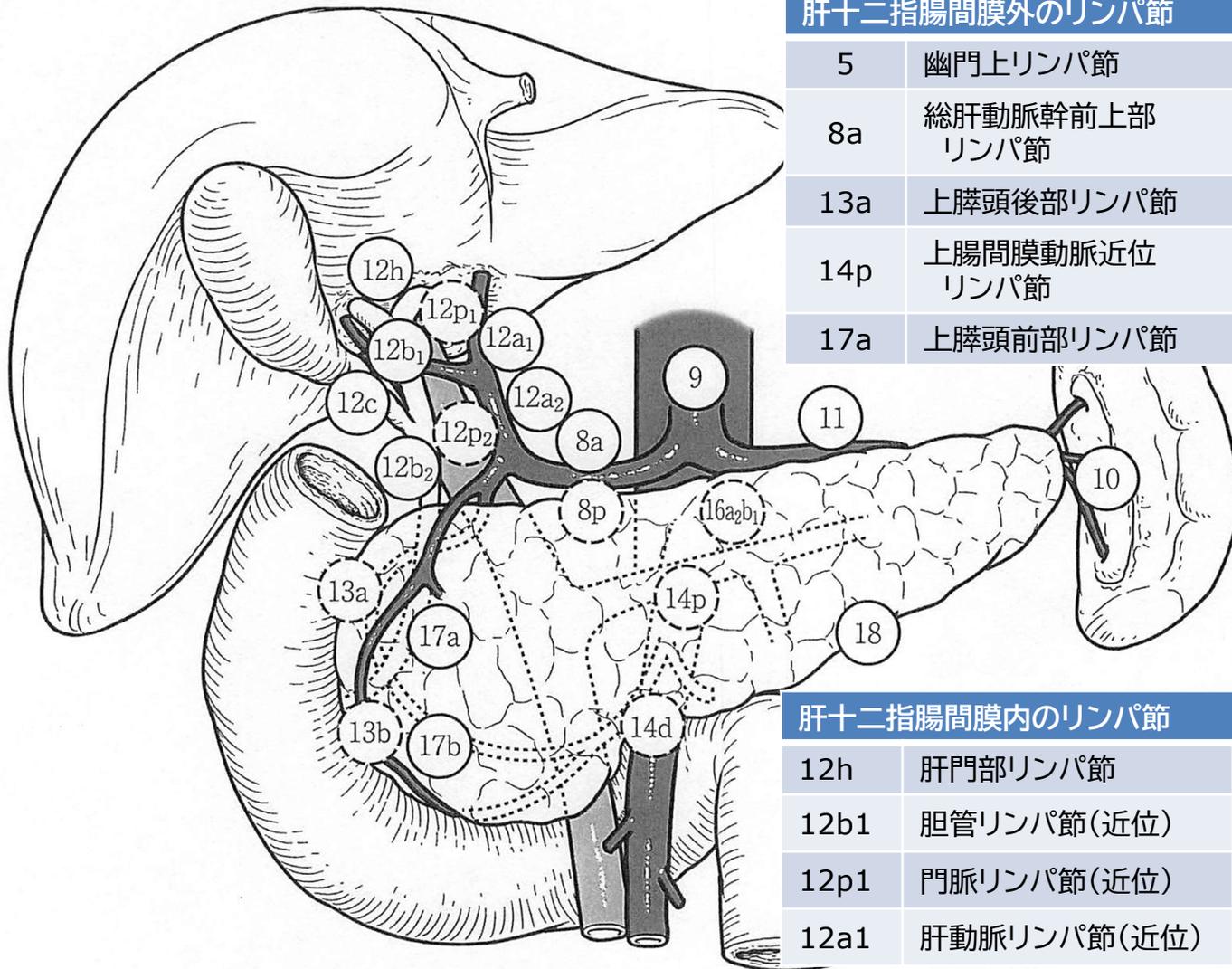
肝十二指腸間膜内リンパ節

(#12h, #12a, #12b, #12p, #12c)

総肝動脈幹リンパ節(#8a, #8p)

上臍頭後部リンパ節(#13a)

# 領域リンパ節の番号(規約第6版)



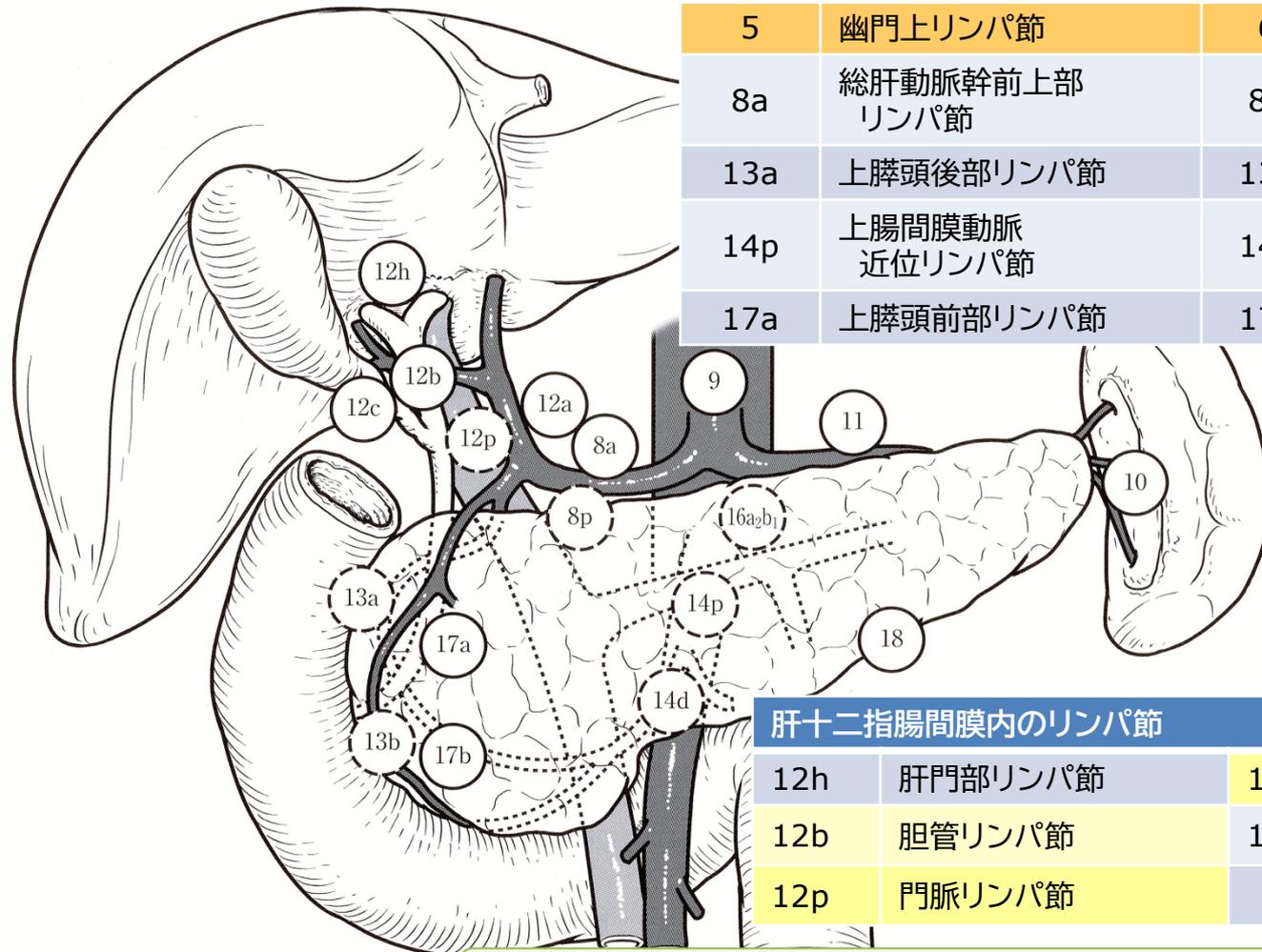
## 肝十二指腸間膜外のリンパ節

5	幽門上リンパ節	6	幽門下リンパ節
8a	総肝動脈幹前上部リンパ節	8p	総肝動脈幹後部リンパ節
13a	上臍頭後部リンパ節	13b	下臍頭後部リンパ節
14p	上腸間膜動脈近位リンパ節	14d	上腸間膜動脈遠位リンパ節
17a	上臍頭前部リンパ節	17b	下臍頭前部リンパ節

## 肝十二指腸間膜内のリンパ節

12h	肝門部リンパ節	12c	胆嚢管リンパ節
12b1	胆管リンパ節(近位)	12b2	胆管リンパ節(遠位)
12p1	門脈リンパ節(近位)	12p2	門脈リンパ節(遠位)
12a1	肝動脈リンパ節(近位)	12a2	肝動脈リンパ節(遠位)

# 領域リンパ節の番号(規約第7版)



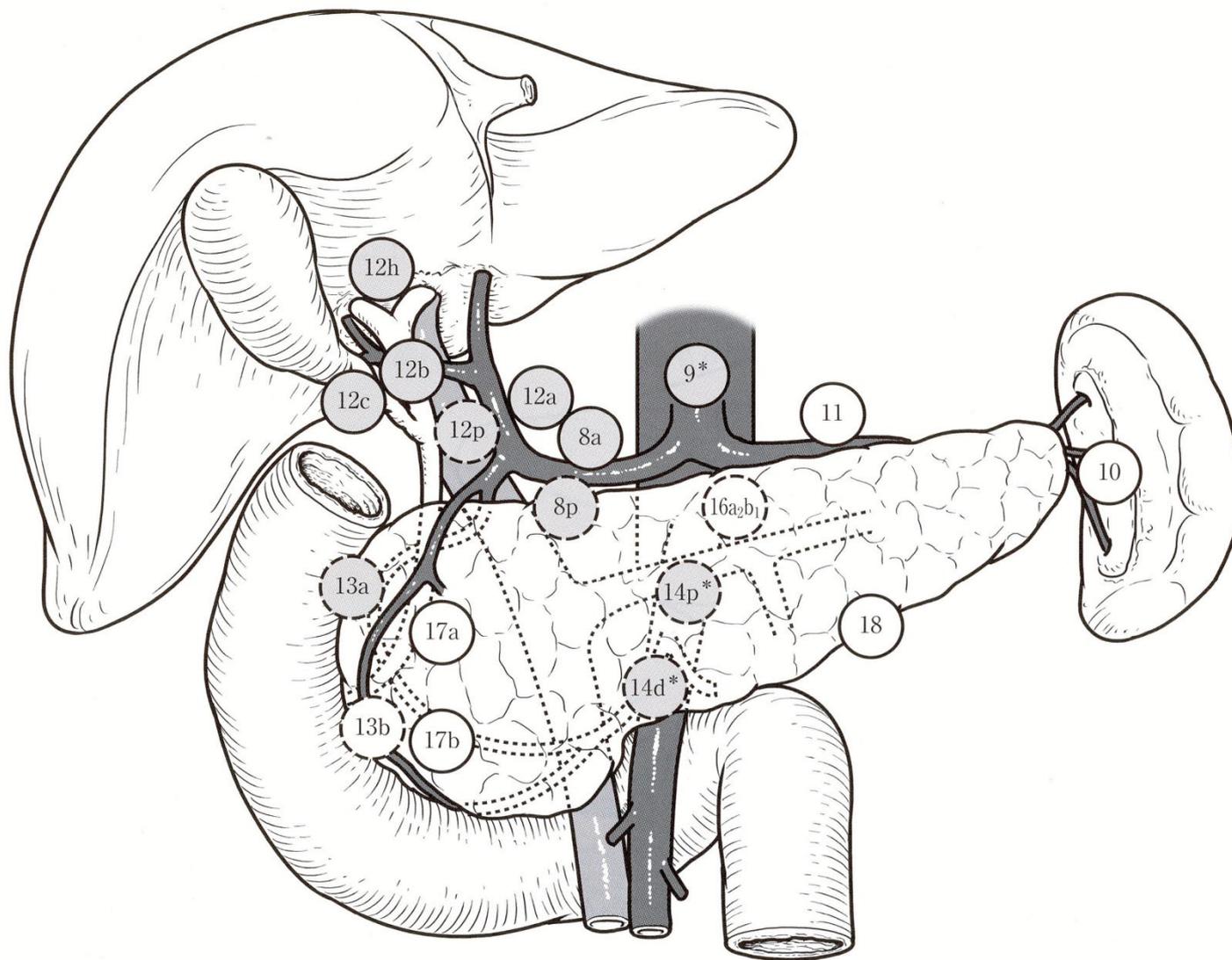
## 肝十二指腸間膜外のリンパ節

5	幽門上リンパ節	6	幽門下リンパ節
8a	総肝動脈幹前上部リンパ節	8p	総肝動脈幹後部リンパ節
13a	上臍頭後部リンパ節	13b	下臍頭後部リンパ節
14p	上腸間膜動脈近位リンパ節	14d	上腸間膜動脈遠位リンパ節
17a	上臍頭前部リンパ節	17b	下臍頭前部リンパ節

## 肝十二指腸間膜内のリンパ節

12h	肝門部リンパ節	12a	肝動脈リンパ節
12b	胆管リンパ節	12c	胆嚢管リンパ節
12p	門脈リンパ節		

肝十二指腸間膜内リンパ節の近位/遠位の区別がなくなった



# M分類(規約第7版) 《胆嚢》

**M0** 遠隔転移なし

**M1** 遠隔転移あり

- 腹腔洗浄細胞診が陽性的の場合、  
**M1**としない(Pcy1と記載)
- **M1**の場合は、その部位を記載する  
**PUL**:肺、**MAR**:骨髄、**OSS**:骨、**PLE**:胸膜、  
**Hep**:肝、**PER**:腹膜、**BRA**:脳、**ADR**:副腎、  
**LYM**:リンパ節、**SKI**:皮膚、**OTH**:他の部位

# ステージ(規約第7版) 《胆嚢》

		N0	N1	N2
<b>Tis</b>		0		
<b>T1</b>	<b>T1a</b>	I A	ⅢB	ⅣB
	<b>T1b</b>	I B	ⅢB	ⅣB
<b>T2</b>	<b>T2a</b>	ⅡA	ⅢB	ⅣB
	<b>T2b</b>	ⅡB	ⅢB	ⅣB
<b>T3</b>	<b>T3a</b>	ⅢA	ⅢB	ⅣB
	<b>T3b</b>	ⅢA	ⅢB	ⅣB
<b>T4</b>	<b>T4a</b>	ⅣA	ⅣA	ⅣB
	<b>T4b</b>	ⅣA	ⅣA	ⅣB
<b>M1</b>		ⅣB	ⅣB	ⅣB

# T分類(規約第7版) 《肝門部領域胆管》

**TX** 原発腫瘍の評価不能  
**T0** 原発腫瘍を認めない

**Tis** carcinoma in situ(上皮内癌)

**T1** 胆管壁までの浸潤

**T1a(M)** 粘膜層(M)までの浸潤

**T1b(FM)** 線維筋層(FM)までの浸潤

**T2a** 胆管壁を越えるが、他臓器への浸潤なし

**T2a(SS)** 漿膜下層までの浸潤

**T2a(SE)** 漿膜浸潤

**T2b** 肝実質浸潤

**T2b(SI)(Hinf)** 肝実質浸潤

**T3** 胆管浸潤優位側の門脈 あるいは 肝動脈浸潤

**T4** 門脈本幹 あるいは 左右分枝(両側)への浸潤、

あるいは 左右肝動脈(両側)、固有肝動脈、総肝動脈に浸潤、

あるいは 片側肝内胆管二次分枝に及び、

対側の門脈 あるいは肝動脈へ浸潤する

Tis	上皮内癌
T1	胆管に浸潤 <small>筋層を越えて、粘膜層に浸潤</small>
T2	胆管壁を越えて、浸潤(他臓器浸潤なし)
T2a	筋層を越えて、漿膜下層に浸潤(SS)
T2b	隣接肝実質に浸潤
T3	門脈あるいは肝動脈の片側の分枝に浸潤
T4	門脈本幹あるいは肝動脈/門脈の両側分枝に浸潤、 <small>あるいは総肝動脈に浸潤、  <small>あるいは両側肝動脈二次分枝に浸潤、  <small>あるいは片側肝動脈二次分枝・対側門脈あるいは肝動脈に浸潤</small></small></small>

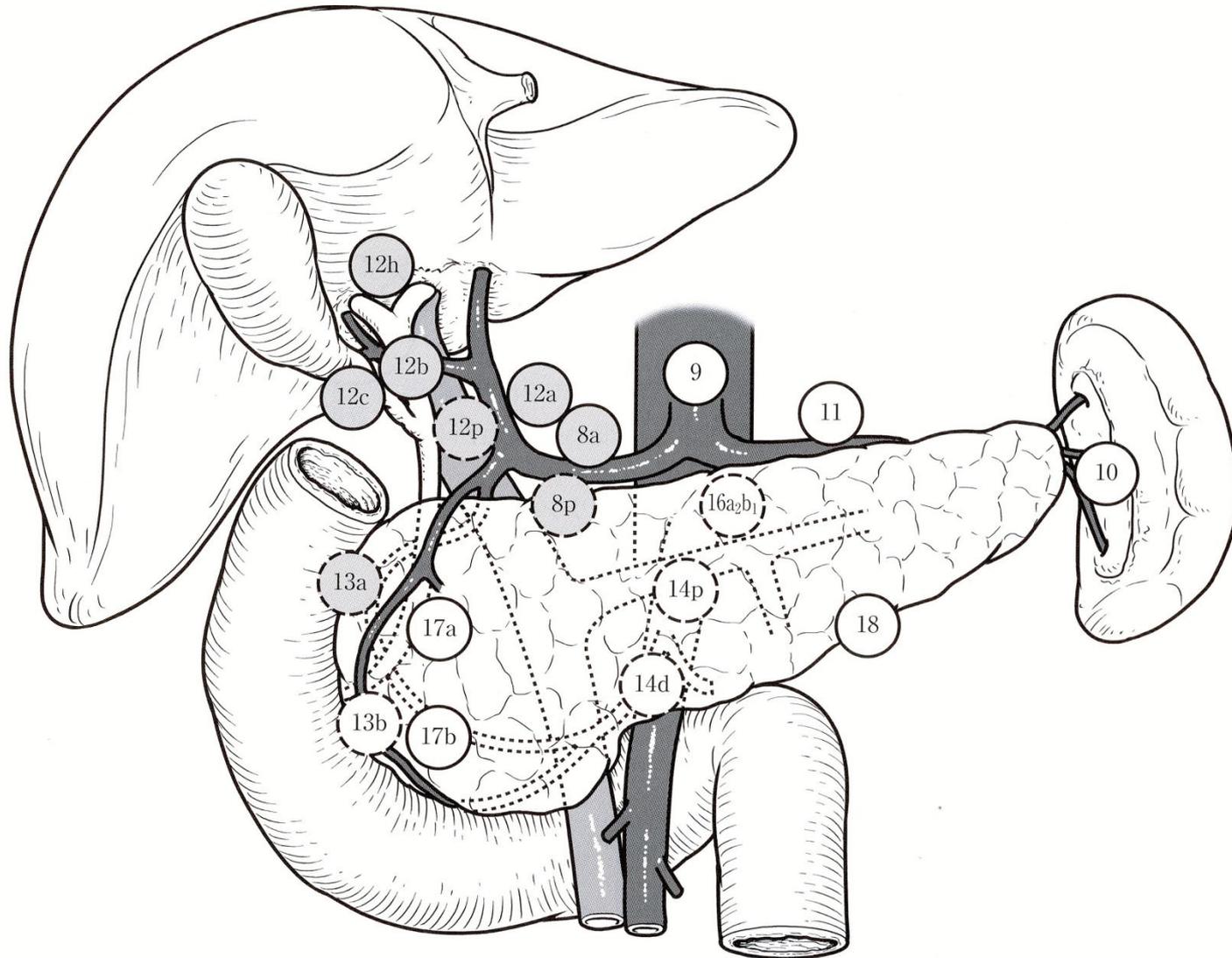
粘膜上皮	} (M)
粘膜固有層	
線維筋層	(FM)
漿膜下層	(SS)
漿膜	

# N分類(規約第7版) 《肝門部領域胆管》

- NX** 領域リンパ節転移の評価が不可能
- N0** 領域リンパ節転移なし
- N1** 1～3個の領域リンパ節転移あり
- N2** 4個以上の領域リンパ節転移あり

- 肝門部領域胆管の領域リンパ節  
肝門部、肝十二指腸間膜内リンパ節  
(#12h, #12a, #12b, #12p, #12c)  
総肝動脈幹リンパ節(#8a, #8p)  
上臍頭後部リンパ節(#13a)

# 領域リンパ節(規約第7版) 《肝門部領域胆管》



# M分類(規約第7版) 《肝門部領域胆管》

**M0** 遠隔転移なし

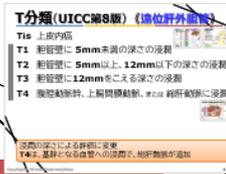
**M1** 遠隔転移あり

- 腹腔洗浄細胞診が陽性の場合、  
**M1**としない(Pcy1と記載)
- **M1**の場合は、その部位を記載する  
**PUL**:肺、**MAR**:骨髄、**OSS**:骨、**PLE**:胸膜、  
**Hep**:肝、**PER**:腹膜、**BRA**:脳、**ADR**:副腎、  
**LYM**:リンパ節、**SKI**:皮膚、**OTH**:他の部位

# ステージ(規約第7版) 《肝門部領域胆管》

		N0	N1	N2
<b>Tis</b>		0		
<b>T1</b>	<b>T1a</b>	I	ⅢC	ⅣA
	<b>T1b</b>	I	ⅢC	ⅣA
<b>T2</b>	<b>T2a</b>	Ⅱ	ⅢC	ⅣA
	<b>T2b</b>	Ⅱ	ⅢC	ⅣA
<b>T3</b>		ⅢA	ⅢC	ⅣA
<b>T4</b>		ⅢB	ⅢC	ⅣA
<b>M1</b>		ⅣB	ⅣB	ⅣB

# T分類(規約第7版) 《遠位肝外胆管》



**Tx** 腫瘍評価不能

**T0** 腫瘍が明らかでない

**Tis** 上皮内癌(carcinoma in situ)

**T1** 胆管壁に深さ**5mm**未満で浸潤

胆管壁は**FM**まで

**T1(M)** 粘膜層(**M**)までの浸潤

**T1(FM)** 線維筋層(**FM**)までの浸潤

**T1(SS)** 漿膜下層(**SS**)までの浸潤

浸潤の実測長(**DOI**)は、  
基底膜から浸潤最先端までの距離

**T2** 胆管壁に深さ**5mm**未満～**12mm**までの浸潤

**T2(FM)** 線維筋層(**FM**)までの浸潤

**T2(SS)** 漿膜下層(**SS**)までの浸潤

**T2(SE)** 漿膜浸潤

**T2(SI)** 他臓器浸潤(膵、十二指腸、胆嚢、肝他)

浸潤の実測長が計測できない場合は、  
浸潤癌の厚み(**ITT**)で代用する

**T3** 胆管壁に深さ**12mm**をこえての浸潤

**T3(SE)** 漿膜浸潤

**T3(SI)** 他臓器浸潤(膵、十二指腸、胆嚢、肝他)

**T4** 腹腔動脈、上腸間膜動脈、総肝動脈、門脈 いずれかに浸潤

# N分類(規約第7版) 《遠位肝外胆管》

**NX** 領域リンパ節転移の評価が不可能

**N0** 領域リンパ節転移なし

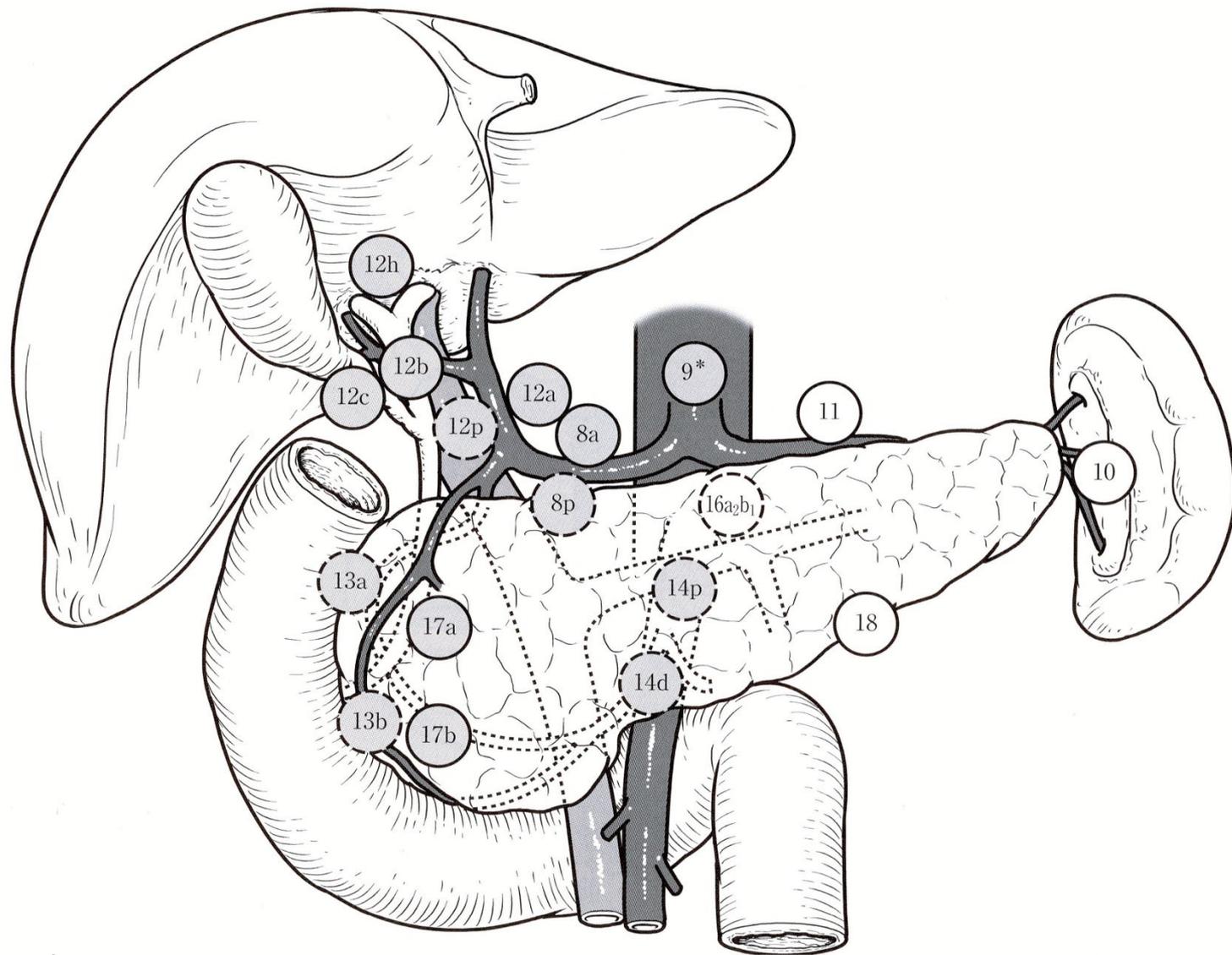
**N1** 1～3個の領域リンパ節転移あり

**N2** 4個以上の領域リンパ節転移あり

## ●遠位肝外胆管の領域リンパ節

- 総胆管リンパ節(#12h,a,b,p,c)
- 肝動脈～腹腔動脈幹リンパ節(#8a,p、#9)
- 膵十二指腸周囲(前部・後部)のリンパ節(#13a,b、#17a,b)
- 上腸間膜動脈リンパ節(#14p,d)

# 領域リンパ節 (規約第7版) 《遠位肝外胆管》



# M分類(規約第7版) 《遠位肝外胆管》

**M0** 遠隔転移なし

**M1** 遠隔転移あり

- 腹腔洗浄細胞診が陽性の場合、  
**M1**としない(Pcy1と記載)
- **M1**の場合は、その部位を記載する  
**PUL**:肺、**MAR**:骨髄、**OSS**:骨、**PLE**:胸膜、  
**Hep**:肝、**PER**:腹膜、**BRA**:脳、**ADR**:副腎、  
**LYM**:リンパ節、**SKI**:皮膚、**OTH**:他の部位

# ステージ(規約第7版) 《遠位肝外胆管》

	<b>N0</b>	<b>N1</b>	<b>N2</b>
<b>Tis</b>	0		
<b>T1</b>	I	II A	III A
<b>T2</b>	II A	II B	III A
<b>T3</b>	II B	II B	III A
<b>T4</b>	III B	III B	III B
<b>M1</b>	IV	IV	IV

# T分類(規約第7版) 《乳頭部》

T分類(UICC第8版) (Vater乳頭)	
Tis	上皮内癌
T1	
T1a	Vater乳頭部、すなわちOddi括約筋に局限
T1b	Oddi括約筋をこえる浸潤
T2	十二指腸の固有筋層に浸潤
T3	膵臓に浸潤
T3a	膵臓に0.5cm以下の範囲で浸潤
T3b	膵臓に0.5cmをこえる浸潤
T4	以下の血管への浸潤を伴うもの (上腸間膜動脈、腹腔動脈、総肝動脈、門脈)

**Tx** 腫瘍評価不能

**T0** 腫瘍が明らかでない

**Tis** 上皮内癌(carcinoma in situ)

**T1a** 乳頭部粘膜層(**M**)あるいはOddi括約筋層(**OD**)までの浸潤

**T1a(M)** 粘膜層(**M**)までの浸潤

**T1a(OD)** Oddi括約筋層(**OD**)までの浸潤

**T1b** 乳頭部Oddi括約筋層をこえて浸潤

および/または 十二指腸粘膜下層に浸潤

**T1b(Du)** 十二指腸(**Du**)の粘膜下層までの浸潤

**T2** 十二指腸の固有筋層に浸潤

**T2(Du)** 十二指腸(**Du**)の固有筋層までの浸潤

**T3** 膵臓 または膵周囲組織に浸潤

**T3a(Panc)** 5mm以内の膵実質浸潤

**T3b(Panc)** 5mmをこえた膵実質浸潤

または膵周囲組織 あるいは 十二指腸漿膜への浸潤

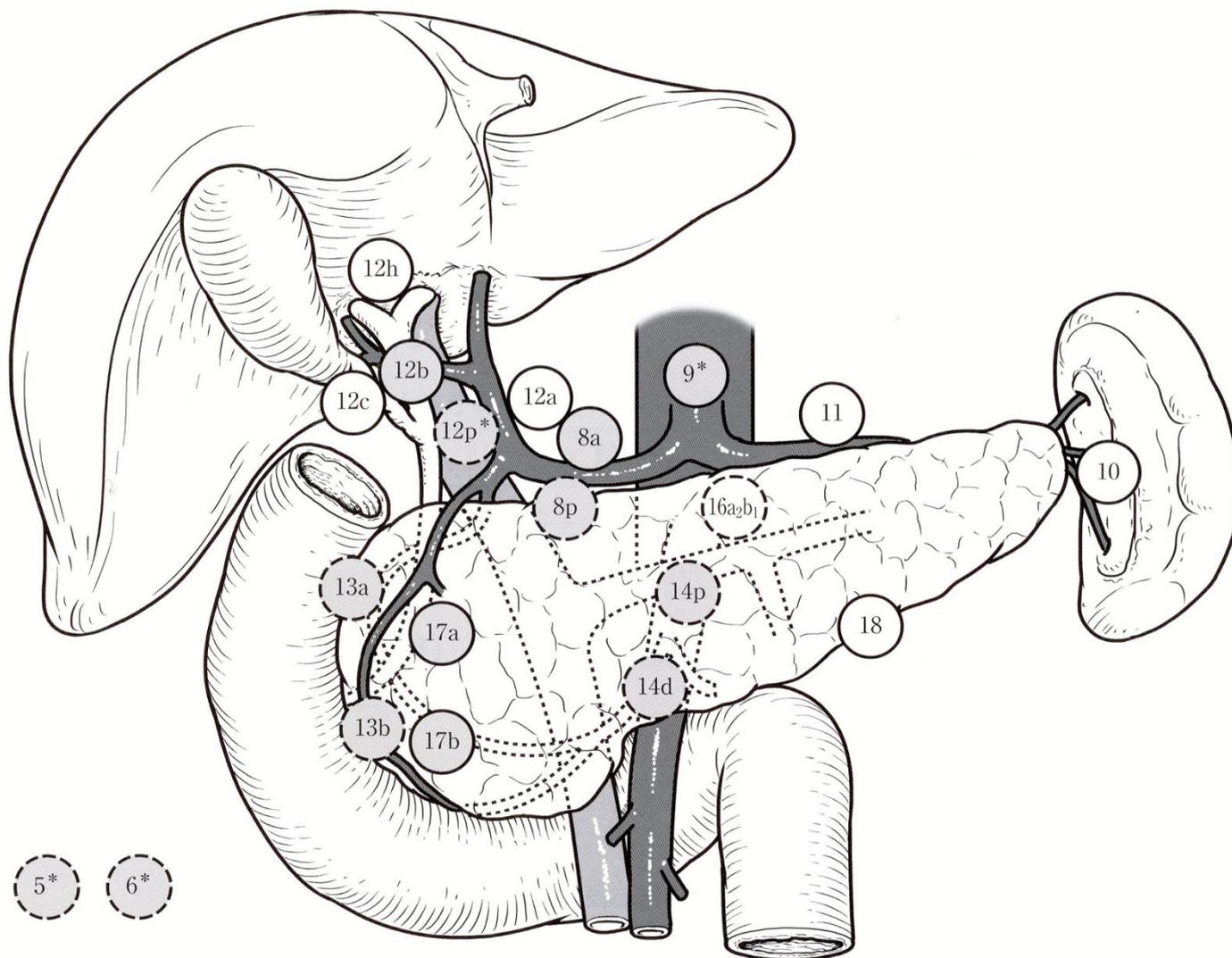
**T4** 上腸間膜動脈、腹腔動脈、総肝動脈、門脈 いずれかに浸潤

# N分類(規約第7版) 《乳頭部》

- NX** 領域リンパ節転移の評価が不可能
- N0** 領域リンパ節転移なし
- N1** 1～3個の領域リンパ節転移あり
- N2** 4個以上の領域リンパ節転移あり

## ●乳頭部の領域リンパ節

- 総胆管周囲、門脈リンパ節(#12b,p)
- 総肝動脈～腹腔動脈幹リンパ節(#8a,p、#9)
- 幽門・幽門上・幽門下リンパ節(#5、#6)
- 膵十二指腸周囲(前部・後部)のリンパ節(#13a,b、#17a,b)
- 上腸間膜動脈リンパ節(#14p,d)



# M分類(規約第7版) 《乳頭部》

**M0** 遠隔転移なし

**M1** 遠隔転移あり

- 腹腔洗浄細胞診が陽性の場合、  
**M1**としない(Pcy1と記載)
- **M1**の場合は、その部位を記載する  
**PUL**:肺、**MAR**:骨髄、**OSS**:骨、**PLE**:胸膜、  
**Hep**:肝、**PER**:腹膜、**BRA**:脳、**ADR**:副腎、  
**LYM**:リンパ節、**SKI**:皮膚、**OTH**:他の部位

# ステージ(規約第7版) 《乳頭部》

		N0	N1	N2
<b>Tis</b>		0		
<b>T1</b>	<b>T1a</b>	I A	ⅢA	ⅢB
	<b>T1b</b>	I A	ⅢA	ⅢB
<b>T2</b>		I B	ⅢA	ⅢB
<b>T3</b>	<b>T3a</b>	ⅡA	ⅢA	ⅢB
	<b>T3b</b>	ⅡB	ⅢA	ⅢB
<b>T4</b>		ⅢB	ⅢB	ⅢB
<b>M1</b>		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ